

円山動物園「こども動物園」のリニューアルオープン等について

今年開園55年目を迎える円山動物園に4月から新たな魅力が加わることになりました。

その1つは、こども動物園のリニューアルです。これは、最近動物園を学習の場とする学校が多くなり、飼育体験や動物との触れ合いについての要望が増えていることから、こども動物園の屋内施設として、飼育体験のできる「総合動物館」を改修したほか、雨天時にも動物と触れ合えるように「ふれあい教室」を新築しました。また、今回のリニューアルに合わせて「スーパーミニホース」も新しく仲間入りします。

さらに、4月1日から年間パスポートを発売するほか、飼育動物の治療を行ってきた病理研究室が老朽化してきたことから、動物病院の新築に着手します。

これら施設のオープンや年間パスの導入などにより、同園では来園者数の増加を期待しています。

1 こども動物園のリニューアルについて

現在、こども動物園内にある「総合動物館」を改修して、ヤギやヒツジ、そして今回道内の動物園としては初めて導入する国内最小級の馬「スーパーミニホース」の餌の調理や清掃といった飼育作業を体験できるようにするとともに、総合動物館に隣接して「ふれあい教室」を新築し、ウサギやモルモットなどをじかに抱いて動物の生態などを学習できるようにしました。

これらの施設のオープンにより、これまで雨天時には中止していた動物との触れ合いが、天候に左右されずに行えるようになります。また、総合動物館とふれあい教室の建物の間には、観覧用通路が設けられ、子どもたちが飼育作業を体験している様子などを見ることができます。

【今後の予定】

「総合動物館」での飼育体験は、中学生を対象とし、5月の連休明け以降に実施する予定です。また、現在、土曜日と日曜日に実施しているウサギやモルモットとの触れ合いも、5月の連休明け以降に「ふれあい教室」で実施予定。また、スーパーミニホースは、オス1頭（サトシ：3歳 栗毛）メス2頭（シズマ：3歳 青毛、ミヨコ：4歳 青毛）で、4月初旬から一般公開の予定となっています。

【ふれあい教室の概要】

(1) 構造：木造

(2) 面積：86㎡

(3) 総工費：約7,500万円（総合動物館改修費を含む）3月末完成予定。

2 年間パスポートの発売について

昨年の夏に来園者を対象に実施したアンケートで、約7割の方から「年間パスがあれば利用したい」との回答を得たことにより、年間パスポートがリピーターの増加に効果的であると判断し、発売することとしました。

(1) 名称：円山動物園パスポート

(2) 発売開始日：平成17年4月1日

(3) 販売価格：1枚千円（現在の入園料：大人600円、中学生以下無料）

(4) 利用可能期間：購入した日から1年以内であれば何度でも入園可能（ただし、本人のみ利用可能）

(5) 購入方法：同園受付で発売するパスポートに利用する本人の氏名と年齢を記入

3 新動物病院の着工について

これまで園内の飼育動物を治療するために使用してきた動物病理研究室が1979年（昭和54年）の建築で老朽化も激しいことから、新たに動物病院を建築することとし、本年4月から着工して年内の完成を目指します。この新しい動物病院は、動物の治療だけではなく種の保存のための機能を併せ持ち、希少動物の精子や卵子を冷凍保存する「種の保存作業室」も新設されます。

（1）構造：鉄筋コンクリート造

（2）面積：約370m²

（3）総工費：2億1,300万円（備品費を含む）

（4）主な設備：X線室、種の保存作業室（超低温フリーザー等設置）、検疫室等

（問い合わせ先：円山動物園管理課 電話621-1426）